



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.165 2011.5.31

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

家具転倒防止器具取付事業・住宅リフォーム助成制度の拡充

北区として放射線量の測定を

5月30日、北区議会防災対策特別委員会が開かれ、北区から、この間の東日本大震災への対応、被災地・被災者への対応について報告がおこなわれました。日本共産党北区議員団は、家具転倒防止器具取付事業や住宅リフォーム助成制度の拡充とともに、原発の影響で懸念される放射線量を北区内でも測定することを求めました。

5月10日から災害要援護者世帯に取付を開始した家具転倒防止器具は、用意した500をはるかに超える、900〜1千件の申し込みがありました。日本共産党の、ながいともこ議員が「希望者全員に取付を」と迫ると、区の担当者は「財政課とも相談し検討する」と答えました。

6月1日から第1次の申込みがはじまる住宅リフォーム助成制度も、区が用意した1千部のパンフレットがなくなり、さらに1千部を増刷するという反響の大きいです。山崎た

防災対策特別委

東日本大震災対策で日本共産党が要求

い子議員は「すべての申込者が助成を受けられるようにすべき」と制度の拡充を求めたのに対し、区は「状況を見てすすめたい」と答えました。

さらに山崎区議は、日本共産党の都議団・北区議団が、福島原発の事故による放射線量を独自に測定していることを紹介しながら、区として計測をおこない、安全かどうかを区民にしめすよう要求。区は、「他区とも条件そろえる必要があるが、まわりの動向をふまえて検討したい」と答えました。

6月より東日本大震災の避難者を受け入れ

北区 緊急避難施設

29日、旧豊島中学校を改修した緊急避難施設の内覧会がおこなわれました。東日本大震災の避難者を、26世帯・約100人受け入れる予定です。

◀12畳の居室。テレビや冷蔵庫、エアコンも完備

◀炊事場も隣接している共同の大食堂



◀浴室では男女5組ずつのユニットバスが使用可

◀1度に10台の洗濯機・乾燥機が使える洗濯室



利用者に安全な赤羽駅を

笠井 衆院議員、のの山区議ら赤羽駅改修問題で国土交通省に要請

JR赤羽駅構内に60店舗もの「エキナカ商店街」をつくる改修工事について、駅利用者ら地域住民は、日本共産党の笠井亮衆院議員、のの山けん区議とともに国土交通省に要請をおこないました。

住民側はこれまで、公開説明会や利用者との安全対策を求めてきましたが、JR東日本はすでにこの3月、「エキキュート赤羽」第Ⅰ期計画を開業させ、夏には第Ⅱ期計画も完成させる予定です。この日の要請では、JRがおこなった乗降・乗換客の流動シミュレーション結果の公開や、第Ⅱ期工事でできる中央通路（約4m）の幅を広げることなどを、JR東日本に指導するように求めました。

国土交通省は事後にしかチェックできず申し入れに対し、国交省の担当者は「JRには地元の方との話し合いを徹底的にやるよう求めている」とのべ、この日の話し合いの内容もJR東日本に伝えたと表明しました。

一方、今回の事業は認定鉄道事業者であるJRに計画を一任しており、国交省は事後にしかチェックできないという問題点があることもうきぼりになりました。



国土交通省の担当者に要請する笠井亮衆院議員（右）と、のの山区議（中央）、地域住民ら = 5月25日、国会内

国土交通省は事後にしかチェックできず

民衆の目で権力者の姿を痛烈に批判

ドーミエとグランヴィル展



5月29日まで三鷹市美術ギャラリーで開かれていた「ドーミエとグランヴィル展」を観てきました。

帝政と共和制がめまぐるしく入れ替わる革命後のフランスに生き、権力にしがみつくと為政者の姿を民衆の目で、痛烈な風刺をもって描いた版画家、オノレ・ドーミエに出会ったのは12年程前。2000点を超えるコレクションを有する伊丹市立美術館へも、何度か足を運びました。

圧政の下、投獄・弾圧も恐れず権力に立ち向かったドーミエ。こっけいに描かれた為政者と、拳を握りしめ凛としてたたずむ民衆の対比は痛快です。（のの山けん）

